

2026年3月期 通期 決算説明補足資料

株式会社 鶴見製作所
証券コード：6351

〈2026. 5.12〉

売上高・営業利益ともに過去最高を更新

・中期経営計画「Transformation 2027」における基本方針の一つである「深化～既存事業の深掘り～」のもと、既存事業の競争力強化およびグローバル事業拡大を目的として、ツルミポンプラテンアメリカと東南アジア駐在員事務所を開設

2025年10月1日付で当社普通株式を、1株につき2株の割合で株式分割を実施

ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.においてのれん3,117百万円および顧客関連資産899百万円の減損損失を計上

【配当】

第2四半期末に「アロイテクノロジー南部町事業所新鑄造工場竣工」を記念し、中間配当で2円、期末に「チリ現地法人並びに東南アジア駐在員事務所の開設」を記念し、期末配当で1円、年間では記念配当として3円増配(株式分割を考慮しない場合4円の増配)

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	前年度比	2027年3月期 通期予想
■ 売上高	680億円	772 億円	92億円	778億円
■ 営業利益	102億円	107 億円	5億円	73億円
■ 経常利益	104億円	136 億円	32億円	82億円
親会社株主に帰属する ■ 当期純利益	87億円	51 億円	△36億円	56億円

※今期は既存事業は底堅く推移する見込みだが、特に中東情勢の長期化を懸念し、原材料価格高騰・調達不安定化リスクを織り込み微増収、営業減益、経常減益、当期純利益増益の見通し

(単位:百万円) ※百万円未満切捨て	2025年3月期 通期		2026年3月期 通期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	68,058		77,227		9,168	13.5%
売上総利益	26,152		29,115			
販売費及び 一般管理費	15,901		18,399			
営業利益	10,251		10,715		464	4.5%
営業外収益	1,173		3,109			
営業外費用	932		222			
経常利益	10,492		13,603		3,110	29.6%
特別利益	2,082		101			
特別損失	461		4,623			
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,783		5,160		△3,622	△41.2%
参考 為替レート						
対米ドル(円)	149.53		159.90			

(注)
直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

結論	特別損失を計上		合計
	のれん 3,117 百万円	顧客関連資産 899 百万円	4,017 百万円
主な要因	 外部環境の悪化 ・ウクライナ戦争の長期化 ・中国市場の冷え込み	 将来収益性に関する見通しの変化 (事業計画見直し・追加設備投資) 生産性向上・グローバル市場拡大に向けた品質向上のための新規設備投資計画により、将来収益性に関する見通しに変化	
	背景 経緯	 2024年7月15日 ZENIT社を完全子会社化	 グローバル戦略の強化 技術・業務提携や製品・販売面でのシナジー創出に取り組む
対応策・ 今後の方針	 CEO交代 新体制のもと、事業計画の見直しと構造改革を推進し、収益力の回復を図る	 技術・製品シナジーによる市場展開の推進 技術・品質交流の成果を踏まえ、当社独自のスマッシュ機構を採用したCTGポンプの欧州他での展開を進め、今後の収益拡大を目指す	

※上記金額は2026年3月期に計上

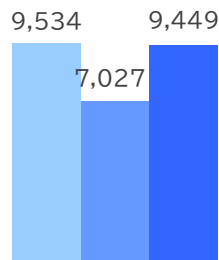
※()内は2025年3月期末からの増減

(単位:百万円)
※百万円未満切捨て

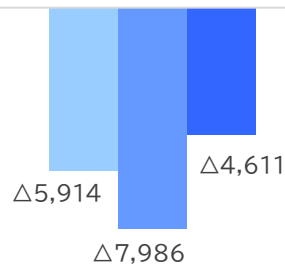
資産の部 138,273 (+6,764)	流動資産 87,820 (+6,163)	流動負債 23,480 (Δ2,348)	負債の部 34,698 (Δ959)
	固定資産 50,453 (+601)	固定負債 11,217 (+1,389)	
		自己資本 102,048 (+7,648)	純資産の部 103,575 (+7,723)
		非支配株主持分 1,527 (+75)	

自己資本比率 73.8%

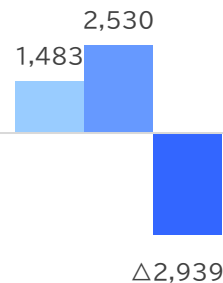
営業活動CF



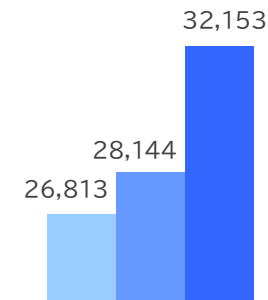
投資活動CF



財務活動CF



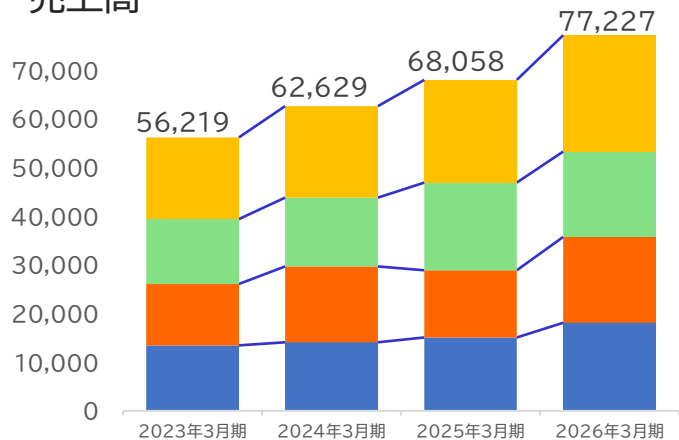
現金及び現金同等物の増減額



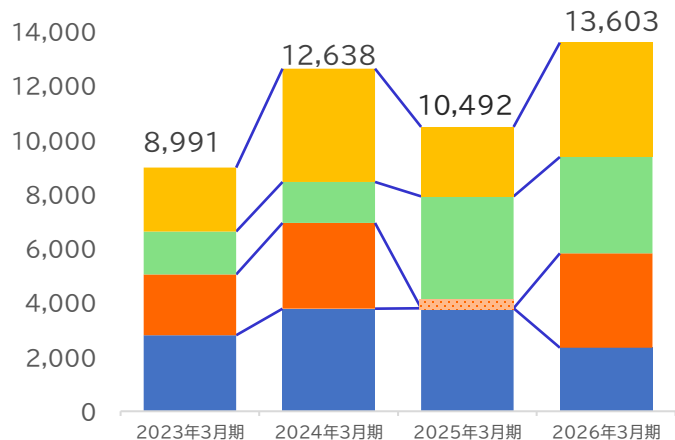
(単位:百万円)

■ 2024年3月期 累計 ■ 2025年3月期 累計 ■ 2026年3月期 累計

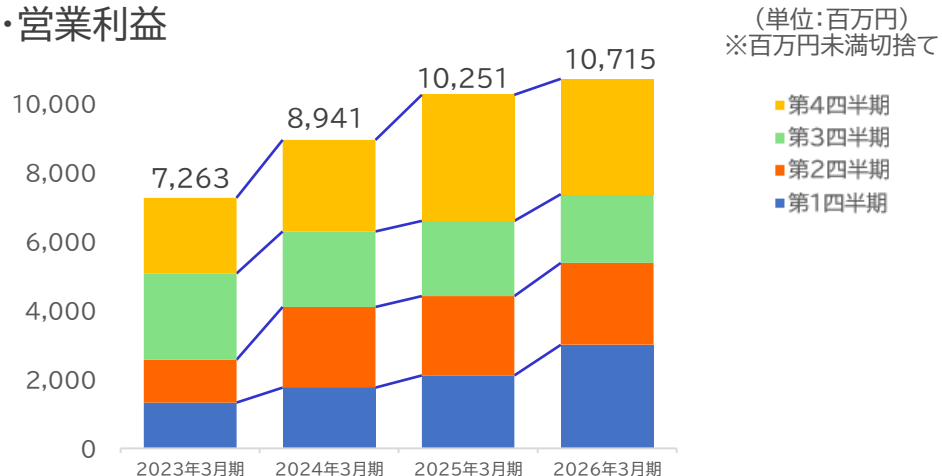
・売上高



・経常利益



・営業利益

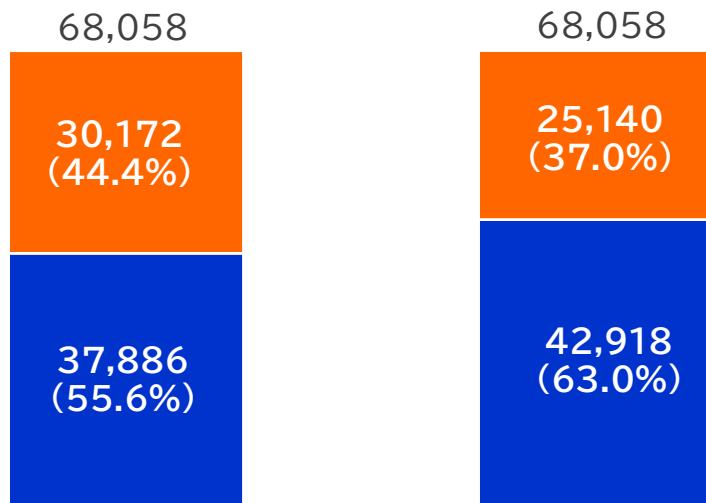


Point

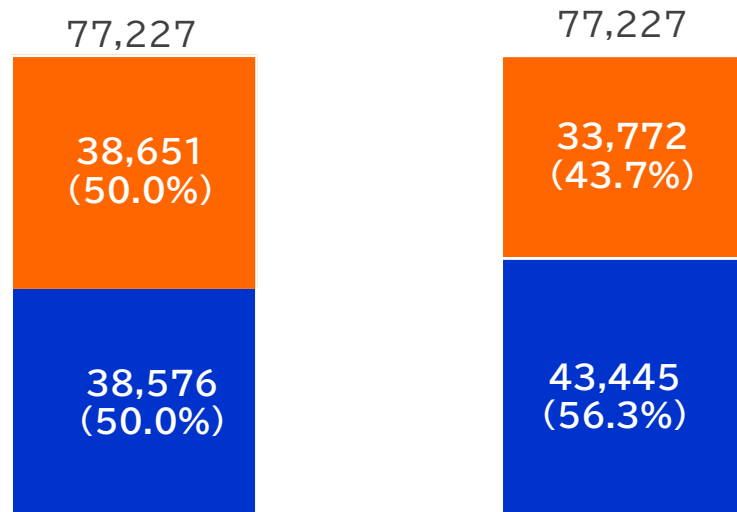
【参考】

2025年3月為替レート：149.53円
2026年3月為替レート：159.90円

2025年3月期



2026年3月期



	販売先地域別	営業部門別	販売地域別	営業部門別
海外	30,172(44.4%)	25,140(37.0%)	38,651(50.0%)	33,772(43.7%)
国内	37,886(55.6%)	42,918(63.0%)	38,576(50.0%)	43,445(56.3%)
合計売上高	68,058	68,058	77,227	77,227

(単位:百万円)※百万円未満切捨

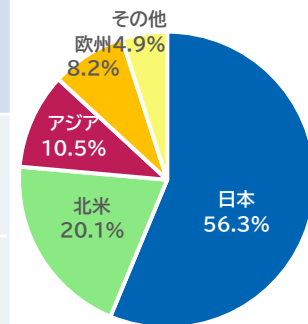
©2026 TSURUMI MANUFACTURING CO., LTD.

Point

- 国内部門：売上高は増収、セグメント利益は増益
- 海外部門：北米地域：売上高は増収、セグメント利益は増益
 アジア地域：売上高は増収、セグメント利益は増益
 欧州地域：セグメント損失はのれんの償却額及び顧客関連資産償却費を計上したこと等により
 311百万円
 その他地域：売上高は増収、セグメント利益は増益

(単位:百万円)	日本	北米	アジア	欧州	その他	調整額	合計
売上高 (前年増減率)	57,555 (2.7%)	15,560 (26.9%)	17,290 (10.3%)	6,815 (-)	6,600 (1.0%)	△26,594	77,227 (13.5%)
外部顧客 への 売上高	43,455	15,560	8,075	6,302	3,835	-	77,227
内部 売上高 又は 振替高	14,100	-	9,215	513	2,765	△26,594	-
セグメント利益 又は損失(△)	8,431	1,466	1,910	△311	989	△1,771	10,715

外部顧客への
売上高構成比



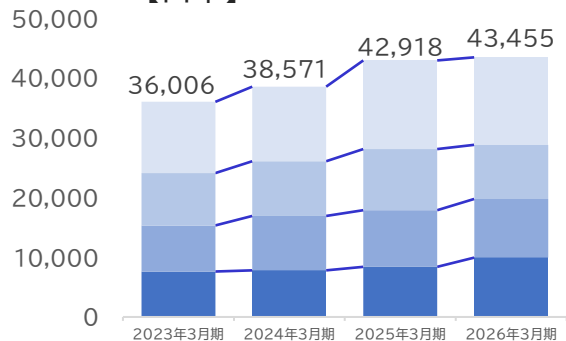
※百万円未満切捨て

※「その他」の区分は、中国等の現地法人の事業活動を含んでおります。

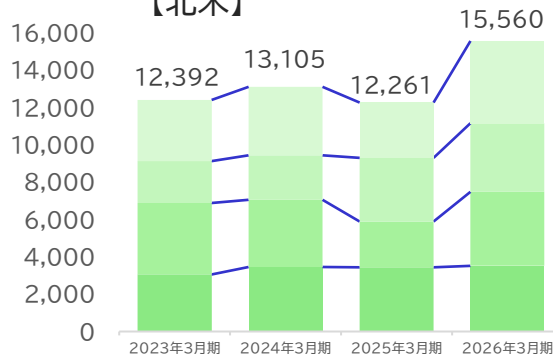
(ご参考)セグメント別売上高推移表

(単位:百万円)
※百万円未満切捨て

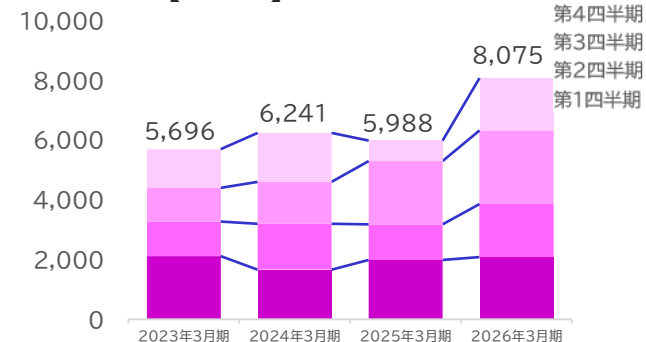
【日本】



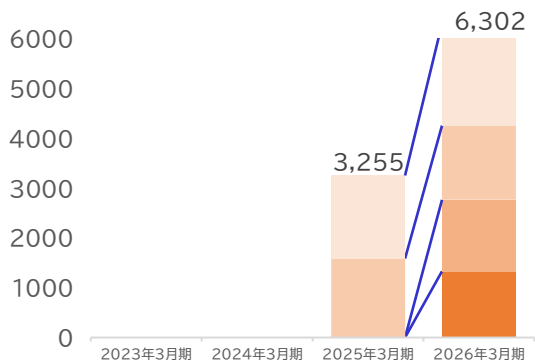
【北米】



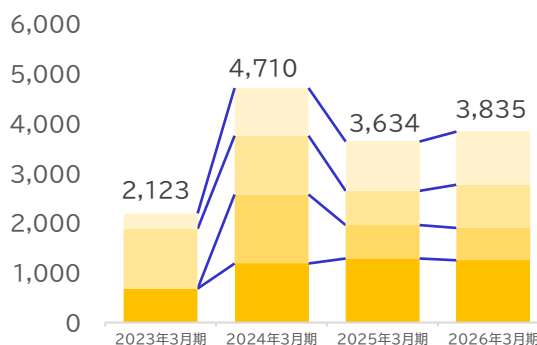
【アジア】



【欧州】



【その他】



地域セグメント対象会社一覧

- 日本 … (株)鶴見製作所・(株)ソルミテクノロジーサービス
・(株)テクノロジーサービス北條
・(株)アロイテクノロジー
- 北米 … ・TSURUMI (AMERICA), INC.
- アジア … ・TSURUMI PUMP TAIWAN CO., LTD
・TSURUMI PUMP VIET NAM CO., LTD.
・TSURUMI PUMP HONG KONG CO., LTD
・TSURUMI (SINGAPORE) PTE. LTD.
・TSURUMI PUMP (THAILAND) CO., LTD.
- 欧州 … 2025年3月期第3四半期より連結に追加
・ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.及び
その子会社4社
- その他 … SHANGHAI TSURUMI PUMP CO., LTD.他2社

決算年月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
売上高(百万円)	39,064	40,347	43,461	45,604	45,325	51,214	56,219	62,629	68,058	77,227
営業利益(百万円)	4,294	4,637	4,945	5,166	5,549	5,508	7,263	8,941	10,251	10,715
売上高営業利益率(%)	11.0	11.5	11.4	11.3	12.2	10.8	12.9	14.3	15.1	13.9
経常利益(百万円)	4,534	4,703	5,734	5,475	6,404	7,368	8,991	12,638	10,492	13,603
売上高経常利益率(%)	11.6	11.7	13.2	12.0	14.1	14.4	16.0	20.2	15.4	17.6
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,063	3,248	4,013	3,952	4,156	4,817	6,262	8,288	8,783	5,160
売上高当期純利益率(%)	7.8	8.1	9.2	8.7	9.2	9.4	11.1	13.2	12.9	6.7
1株当たり当期純利益(円)※	61.17	64.88	80.14	78.92	83.00	96.25	126.98	168.81	179.36	107.34
純資産(百万円)	53,364	56,642	59,405	62,010	66,874	71,848	78,161	90,195	95,852	103,575
1株当たり純資産(円)※	1,049.00	1,113.50	1,169.27	1,221.09	1,317.60	1,420.88	1,568.85	1,801.56	1,946.93	2,127.53
ROE(自己資本利益率)(%)	6.0	6.0	7.0	6.6	6.5	7.0	8.5	10.0	9.6	5.3
ROA(総資産利益率)(%)	4.7	4.7	5.6	5.1	5.1	5.5	6.3	7.2	6.7	3.7
総資産(百万円)	64,785	68,699	72,160	76,939	81,487	87,299	99,000	115,351	131,509	138,273

※当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、

「1株当たり当期純利益」・「1株当たり純資産」を算定しております。

資本収益性

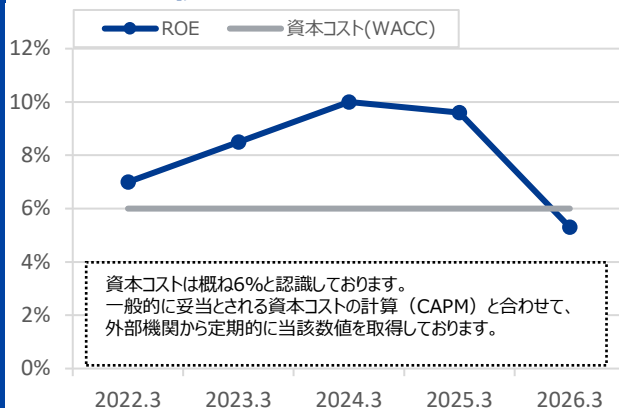
ROE (2026.3実績)
5.3%

ROIC (2026.3実績)
7.5%

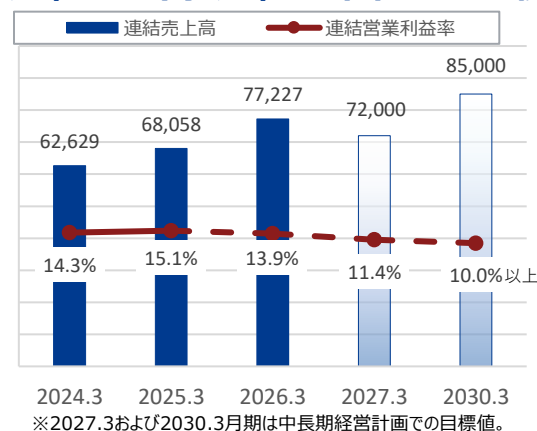
※当社の業態は水中ポンプ専業であるため、事業別ROICを算出しておりません。

※ROICの算出は調達サイドでの計算となります。

ROEの推移



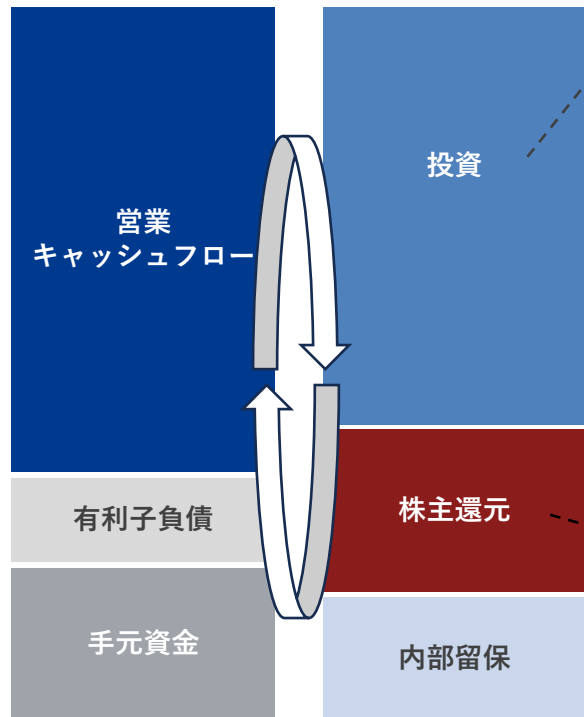
連結売上高・連結営業利益の推移



■ 資本収益性の目標値とその向上施策

- ◆ 長期的 (2030年3月期まで) に営業利益率10%以上、ROE10%以上を達成
- ◆ 最適資本構成を意識した有利子負債の更なる活用、ならびにグループ資金の効率的な運用
- ◆ モータや鋳物部材など水中ポンプ主要部材の内製化推進、ならびに種々生産性の向上によるQCDの改善
- ◆ スマッシュポンプに代表される、高効率化・省人化に確実に寄与する、付加価値の高い製商品の開発
- ◆ 拡大余地の大きいグローバルな設備市場や鉱山市場における当社市場占有率の向上

中長期を見据えた積極的な成長投資や、次の100年に繋げるBCP投資の財源を確保しつつ、自己株式の機動的な取得や確実な累進配当施策をベースとした株主還元を実施し、資本収益性の向上へ



■ 成長投資・BCP投資、資金調達

- ◆ 今後5年間における成長投資ならびBCP投資（総額185億円程度の見込み）
 - ▶ モータや鋳物部材といった水中ポンプ主要部材の内製化を新製法により推進、ならびに南海トラフ地震など発生確度の高い大規模災害への備えも含むBCP投資：80億円
 - ▶ グローバルな社会課題である気候変動対策や省人化に寄与する技術研究・製品開発：25億円
 - ▶ ESG経営の一環として太陽光発電・再生可能エネルギーを活用：10億円
 - ▶ グローバル設備市場、鉱山市場の攻略と市場占有率の拡大（M&Aや業務提携）：50億円
 - ▶ サステナブルで効率的な経営を実現するためにグループ基幹システムを再構築：20億円
- ◆ 資金調達における他人資本（有利子負債）の活用や政策保有株式の縮減

■ 株主還元施策

- ◆ 株式市場の動向を見定め、かつ流動性に配慮しつつ、機動的に自己株式を取得
- ◆ 累進配当施策の継続（目標配当性向30%）

※各項目の大きさは予想収入・支出額を示すものではありません。

健全なガバナンス体制の下、地球環境への貢献と多様な人材が活躍できる環境整備の強化を通じて持続的な社会の実現と企業価値向上の両立を目指す。

取組方針		指標	2026年度末 目標	進捗状況・実績
E	◆ Green Plan 2030 ^{※1} の達成 ◆ 削減貢献量の算定精度の向上 ◆ 浸水・汚水流出防止への貢献	自社GHG排出量	41%削減 (2014年度比)	24.5%削減 (排出量: 2,641 t-CO ₂) ^{※4}
		サプライチェーンGHG排出原単位	25%削減 (2014年度比)	37.5%削減 (排出原単位: 27.6 t-CO ₂ /百万円) ^{※4}
		CDPスコア (気候変動)	B 評価	2025年スコア: B評価 (気候変動・水セキュリティ)
		自社施工の排水ポンプの排水能力	50m ³ /s (年間合計)	43.5m ³ /s ^{※4}
S	◆ ワークライフバランスと健康経営の推進 ◆ D E & I ^{※2} の推進 ◆ 挑戦の機会創出	男性育児休暇取得率	80%	80% ^{※5}
		女性総合職の配置率	100%	73% ^{※5}
		キャリア形成や自主性の育成に繋がる施策の実施	—	スキル認定制度・社内公募制度によるキャリア形成の支援。10%ルール ^{※6} による挑戦機会の創出。
G	◆ 不透明なリスクへの対応 ◆ コンプライアンス意識の向上	サステナビリティ戦略委員会、リスク管理委員会の実施回数	年1回以上	サステナビリティ戦略委員会: 1回 ^{※5} リスク管理委員会: 1回 ^{※5}
		コンプライアンス・プログラム ^{※3} の受講率	90%以上	91.7% ^{※5}

※1. 当社の環境長期目標 ①自社活動GHG排出量を2030年までに2014年度比50%削減 ②サプライチェーン活動GHG排出原単位を2030年までに2014年度比30%削減 環境長期目標『Green

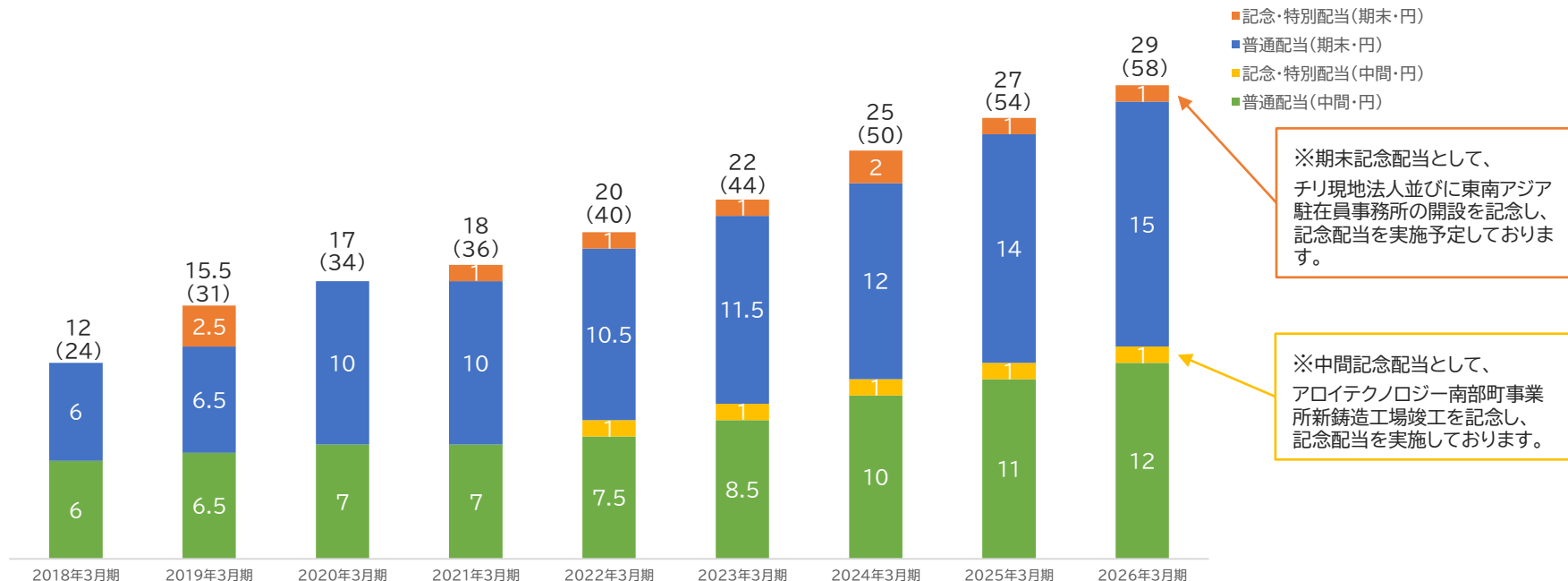
※2. 多様性 (Diversity)、公平性 (Equity)、包摂性 (Inclusion) の略

※3. 人権の尊重や腐敗防止等の講習で構成される年度教育計画

※4. 2024年度実績

※5. 2025年度見込み

※6. 労働時間の10%相当の時間で普段とは異なる業務を行い、新たな挑戦を促す制度



※期末記念配当として、チリ現地法人並びに東南アジア駐在員事務所の開設を記念し、記念配当を実施予定しております。

※中間記念配当として、アロイテクノロジー南部町事業所新鑄造工場竣工を記念し、記念配当を実施しております。

← 安 定 配 当 の 継 続 →

- (注)
- ・直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
 - ・2025年10月1日付で普通株式1株を2株に株式分割を実施しました。
 - ・2018年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しております。
 - ・()は株式分割前の金額。

機関投資家向け決算説明会

2026年5月29日(金曜日)
11:00~12:00

会場:大阪証券取引所 北浜フォーラム
会場・オンライン開催

〈お問い合わせ先〉
株式会社鶴見製作所 総務課 IRチーム
Email:kabushiki@tsurumipump.co.jp

※決算説明会は、アナリストの方を対象とした説明になります。

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社鶴見製作所 総務課 IRチーム

TEL:06-6911-2351

Email:kabushiki@tsurumipump.co.jp